

令和8年度 山財ダム水防連絡協議会資料



愛媛県南予地方局
山財ダム管理事務所

目 次

	頁
1 山財ダムの目的及び規模	1
2 山財ダムの放流の種類	2
3 放流のための警報設備	3
4 放流時の通知方法	4
5 洪水調節図	7
6 警報音音達範囲図	8
7 放送局設備写真	9
8 警報局設備写真	10
9 浄水場及び各局位置図	11
10 警報掲示板	12
11 山財ダム 立札位置図（警報板設置位置図）	13
12 山財ダム水防伝達系統図	14
13 参考資料	16

はじめに

山財ダムは、昭和49年4月に着工し、昭和56年3月末に完成しました。令和7年度で管理開始から46年目になります。完成以後は、初期の目的である洪水調節、河川機能維持、水道やかんがい用水の確保を達成するために、ダムの管理を行ってきたところです。

ダムでは台風や前線による大雨の場合、放流を行うこととなりますが、その際の警報方法を定めておりますので、水防関係者の皆様には十分ご留意の上、ご協力をお願いします。

1 山財ダムの目的及び規模

(1) 目的

山財ダムは、岩松川の洪水調節を行い下流地域の水害を防止するとともに、岩松川沿岸の既得用水の補給を行う等、流水の正常な機能の維持を図り、さらに上水道用水及び特定かんがい用水の供給を目的としています。

(2) 規模

形式	重力式コンクリートダム
堤頂幅	4.00m
堤頂標高	94.50m
堤高	64.00m
堤頂長	205.00m
堤体積	202,000m ³
総貯水容量	6,500,000m ³
有効貯水容量	5,900,000m ³

(3) 放流設備

設備名	規格	数量	機能
クレストゲート	11.58m×8.5m	2門	洪水時の洪水調節
コンジットゲート	2.95m×2.95m	1門	小さい出水時の流量調節
シリンダーゲート		1門	利水放流時に貯水池の水温や水質の状況に応じ取水する深さを選択
常時満水維持放流管	1.0m×3.0m	1門	
ホロージェットバルブ	φ400mm	1基	河川維持用水、既得用水の調節

2 山財ダムの放流の種類

(1) 利水のための放流

○利水必要量の放流

- ・かんがい期の農業用水補給のための放流
- ・河川維持用水のための放流

(2) 治水のための放流

○ダムの満水位維持のための放流

ダムの平常時最高貯水位を維持するための放流であり、下流に急激な変動を与えない範囲で毎秒 90m³ まで放流します。

○洪水調節のための放流

流入量（ダムに流れ込む水の量）が毎秒 90m³ を超える場合には、流入量が最大となるまで一定率で放流して洪水の一部をダムに貯留し、流入量が最大となった後は、その時の放流量を維持して流入量が等しくなるまで放流する「一定率一定量調節方式」で行います。

山財ダムの計画最大流入量は毎秒 480m³ であり、この場合はピーク時で毎秒 310m³ を貯留して毎秒 170m³ を下流に放流します。

○緊急放流（異常洪水時防災操作）

異常な降雨によりダム地点の流入量が計画規模を超え、このまま洪水調節を続けると、ダムに貯めることができないと予測される場合に実施する特別な操作であり、流入量と同じ量を下流に放流します。平成 17 年 9 月に一度だけ実施しています。

○事前放流

台風の接近等で大雨が予想される場合（24 時間当たりの雨量が 300 mm 以上）、事前にダムの貯水位を下げ（最大で満水位から 4.5m 下げる）、洪水に準備する必要があると判断した場合に実施します。

(3) 施設の点検整備のための放流

○ゲート、バルブの点検及び整備を実施する場合又はその他特に必要がある場合に実施します。

放流の原則

放流量を増加させる直前におけるダムからの放流量	10 分間における放流量の増加割合
毎秒 15m ³ 未満	毎秒 5m ³ 以内
毎秒 15m ³ ～毎秒 50m ³ まで	毎秒 10m ³ 以内
毎秒 50m ³ ～毎秒 120m ³ まで	毎秒 20m ³ 以内
毎秒 120m ³ ～毎秒 170m ³ まで	毎秒 30m ³ 以内

3 放流のための警報設備

(1) 警報サイレン及び拡声器

警報設備は、ダム管理事務所から岩松川河口までの間に上流から、ダム監視局、長野警報局、嵐部放送局、寺の下放送局、新開警報局、岩渕放送局、稲中警報局、八幡放送局、岩松警報局、白鷺放送局、磯警報局の計 11 箇所設置しており、これらの操作はダム監視局から無線によって行っています。

警報局は、警報サイレン、赤色回転灯、電光表示板、ダム放流に関する予報、警報を行うスピーカーを配備しており、また、放送局は、赤色回転灯、電光表示板、スピーカーを配備しています。(P8～11 参照)

(2) 警報掲示板

警報掲示板は、ダム管理事務所から岩松川河口までの間で、特に人の出入りの多い地点、または危険区域等の 17 箇所に設置し、放流に関する通知及び警報サイレンの鳴らし方について掲示しています。また、ダム直下流に危険注意看板を設置して、通常時の流水量に変動があることへの注意喚起を行っています。(P12、13 参照)

(3) 警報車

山財ダム管理事務所に 1 台配備されており、放流の際には、ダム監視局と連絡をとりながらサイレン警報拡声器による予報及び河川の巡回、監視を行っています。

4 放流時の通知方法

(1) 放流時の通知及び警報方法

①関係機関には、放流開始約1時間前に電話、FAXで通知します。(P14参照)
また、「えひめ河川(かわ)メール」により、ダム放流情報を配信します。

②サイレン・スピーカーによる警報は、次のとおり。

1)放流開始約40分前…全警報局で放流の予告に関する放送

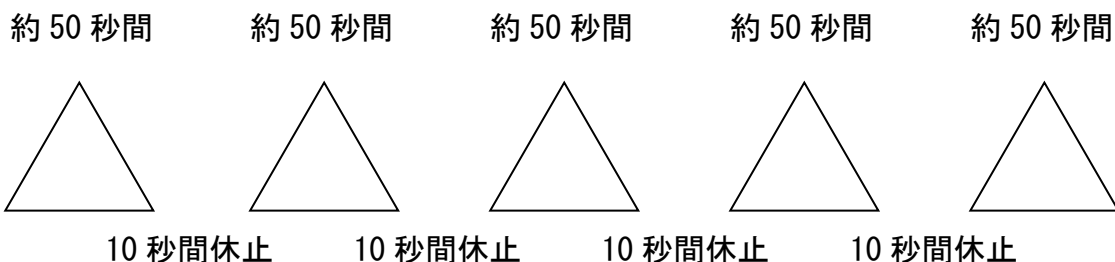
2)放流開始約30分前…サイレン警報局で約5分吹鳴(停電時は、擬似音が鳴ります)

3)放流開始約7分前…ダム監視局のみ放流の予告に関する放送

4)放流開始約5分前…ダム監視局のみサイレンを約3分吹鳴

[警報サイレンの吹鳴方法]

(約5分間吹鳴)



③警報車は、放流開始の約1時間前に山財ダム管理事務所を出発し、予報及び警報を行いながら、御代の川、岩松川筋を通り、河口までの範囲を巡回し、事務所と連絡しながら下流の状況を把握します。

④放流の間は、電光掲示板には「放流中」等を表示点灯し、赤色回転灯が点滅します。(表4-1参照)

表4-1 電光掲示板・赤色回転灯の表示について

	電光掲示板			赤色回転灯
	表示内容	表示方式	色	回転灯数
満水維持放流時	放流中	固定	橙	1灯
洪水調節時	放流中 最大170トン見込み	スクロール	橙	2灯
緊急放流時	非常事態 緊急放流 放流量激増	スクロール	赤	3灯
保守点検時	点検中	固定	緑	-
防災訓練時	訓練中	固定	緑	-
渇水時	節水中	固定	緑	-

⑤ダム放流情報は、NHK、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日放送等のスポットニュースでも放映されます。

(2) 放流時の警報範囲

①警報しない場合

利水放流のみの場合は、日々の流量調整はありますが、変動が少ないので警報はしません。ただし、警報車による巡回監視は必要に応じて適宜行います。

②ダム地点から岩渕まで警報する場合

放流量が毎秒 10m³ 以下の場合は、ダム監視局、長野警報局、嵐部放送局、寺の下放送局、新開警報局、岩渕放送局から警報を行います。また、警報車にて岩渕地区まで予報及び警報を行います。

③ダム地点から河口まで警報する場合

ダムからの放流量が毎秒 10m³ を超える場合は、全警報局から警報します。また、警報車も全区域を巡回して予報及び警報を行います。

(3) 緊急放流（異常洪水時防災操作）時の通知方法について

①緊急放流実施見込みの連絡

異常洪水時防災操作を実施する見込みとなった場合は、山財ダム管理事務所長から宇和島市長、宇和島警察署警備課長へホットライン（電話）にて連絡します。

②関係機関には、緊急放流開始約 1 時間前に電話、F A X で通知します。（P14 参照）

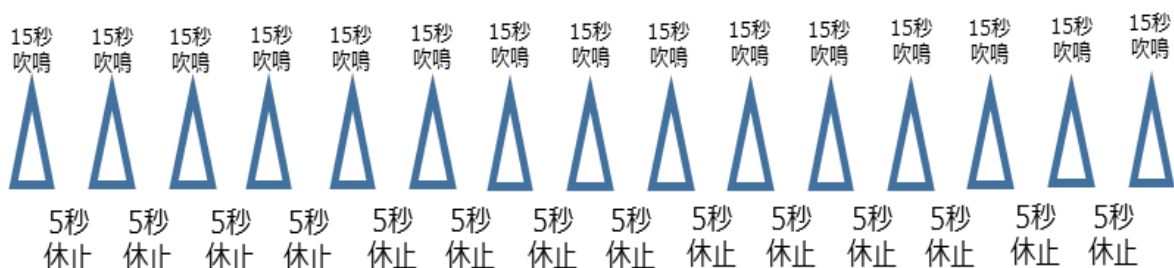
また、「えひめ河川メール」により、ダム放流情報を配信します。

③サイレン・スピーカーによる警報は、次のとおり。

- 1) 放流開始約 40 分前…全警報局で放流の予告に関する放送
- 2) 放流開始約 30 分前…サイレン警報局で約 5 分吹鳴（停電時は、擬似音が鳴る）
- 3) 放流開始約 7 分前…ダム監視局のみ放流の予告に関する放送
- 4) 放流開始約 5 分前…ダム監視局のみサイレンを約 5 分吹鳴

〔緊急放流時の警報サイレンの吹鳴方法〕

(約5分間吹鳴)

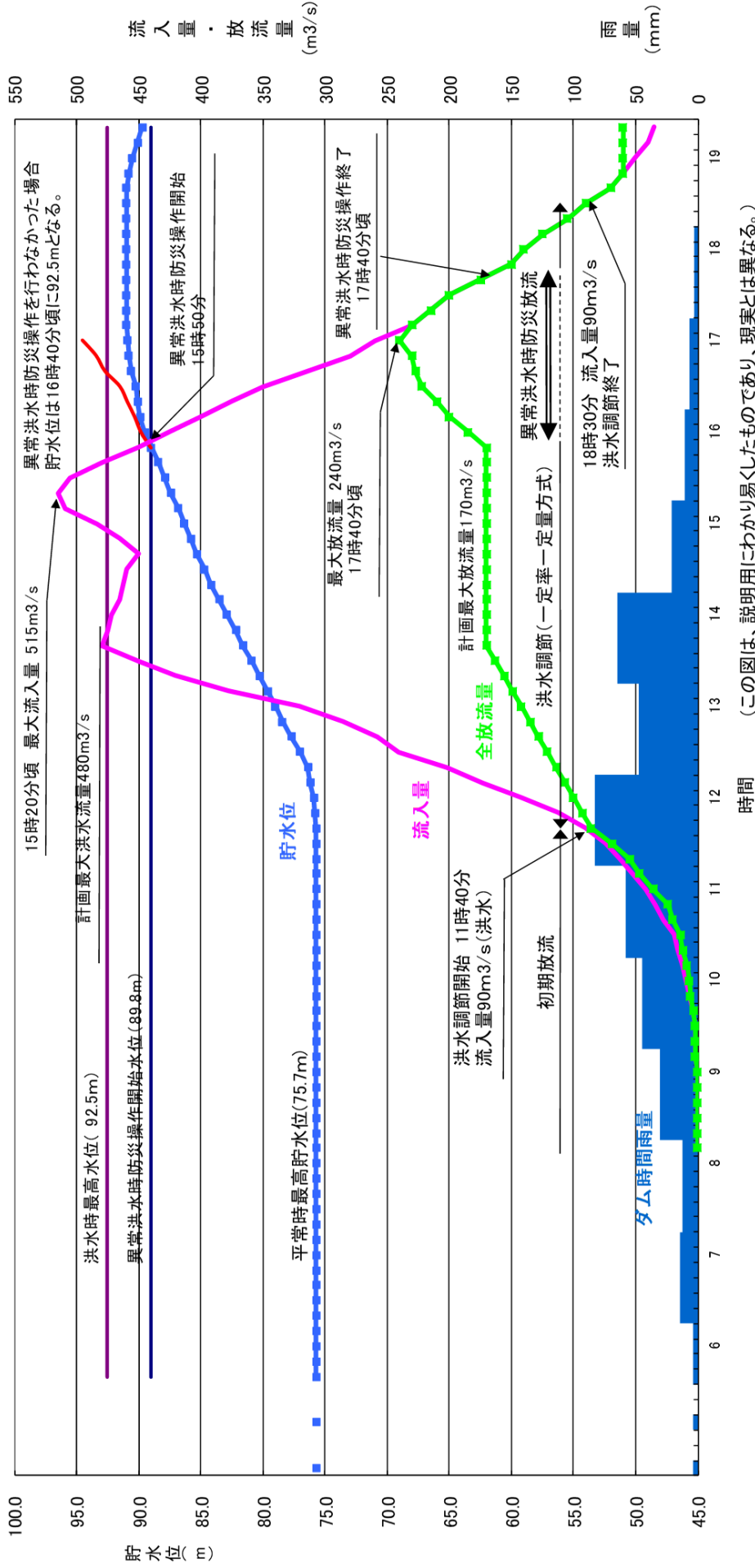


④警報車は、放流開始約1時間前に山財ダム管理事務所を出発し、予報及び警報を行いながら、御代の川、岩松川沿いを通り、河口までの範囲を巡回し、事務所と連絡しながら下流の状況を把握します。

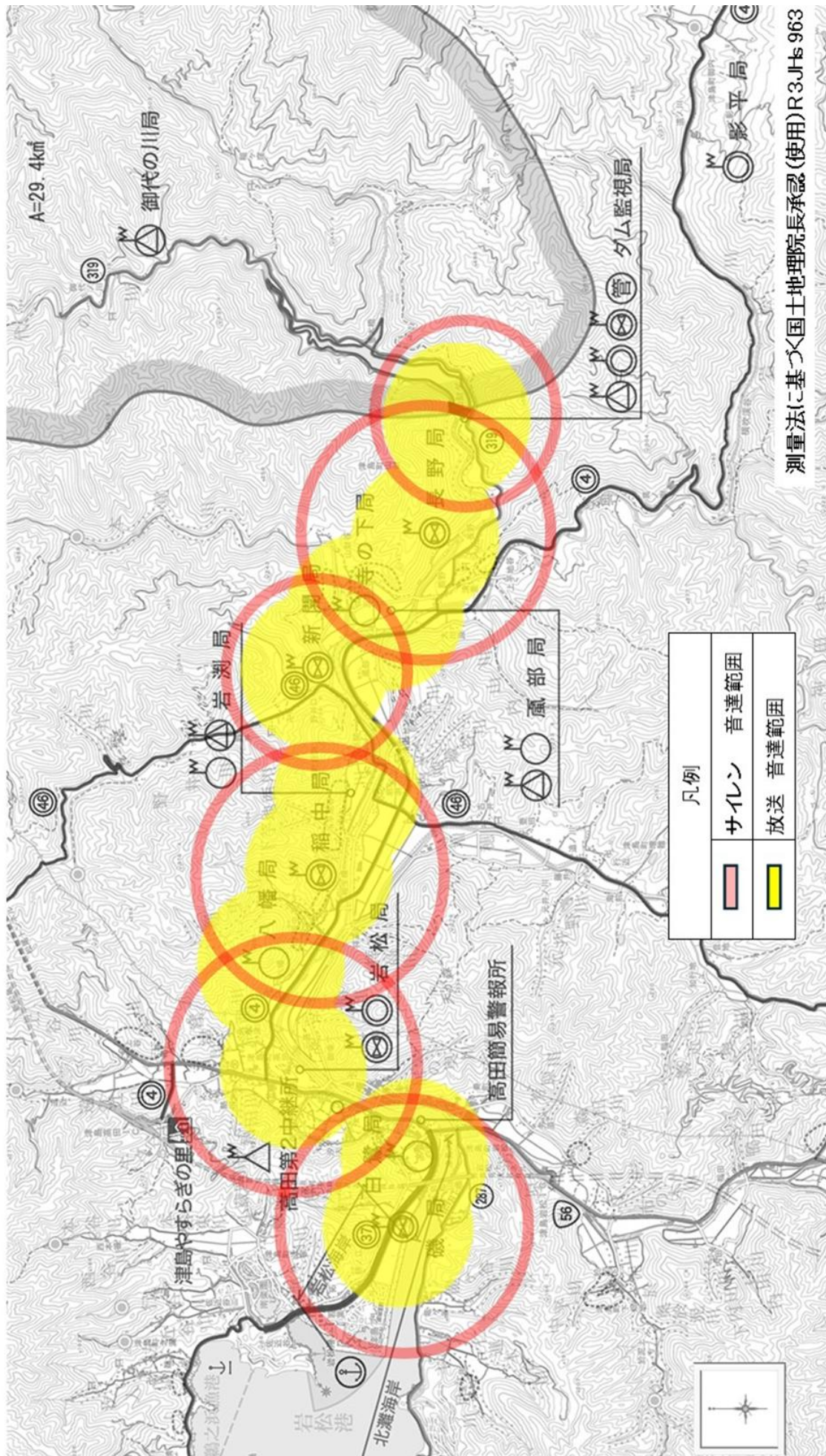
⑤放流の間は、電光掲示板には「非常事態 緊急放流 放流量激増」を表示点灯し、赤色回転灯が3灯点滅します。(P4 表4-1のとおり。)

⑥ダム放流情報は、NHK、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日放送等のスポットニュースでも放映されます。

洪水調節図



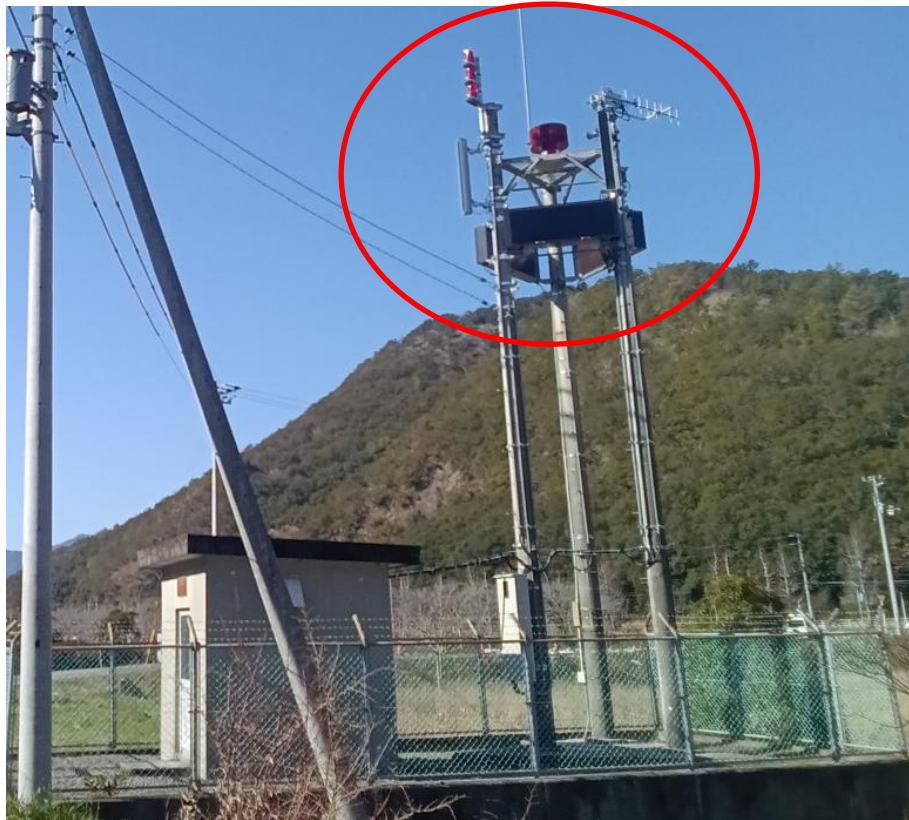
警報音音達範囲図



放送局設備写真（八幡局）



警報局設備写真（磯局）



- 【各部名称】
- ① 赤色回転灯
 - ② サイレン
 - ③ スピーカー
 - ④ 電光掲示板

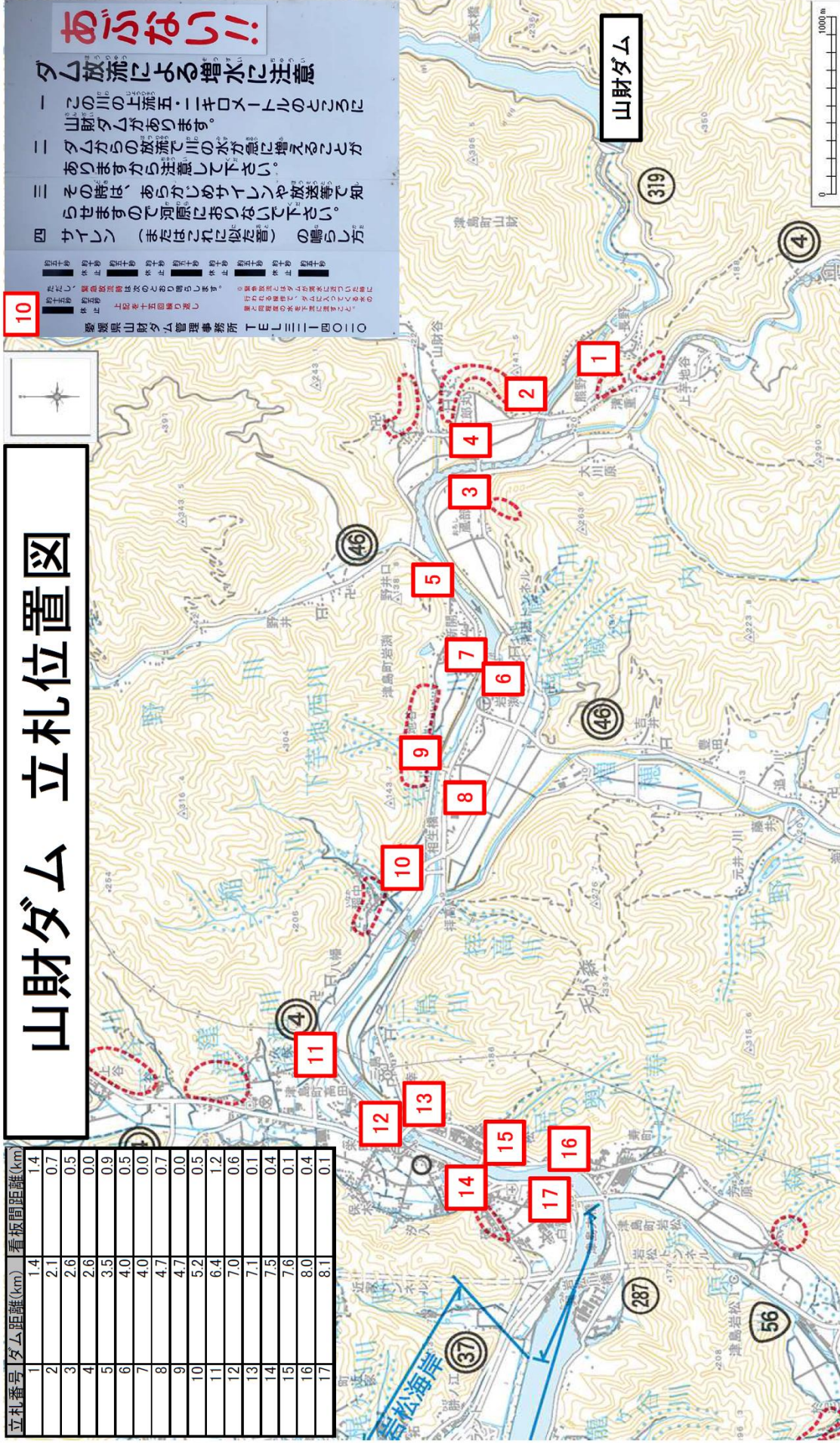
浄水場及び各局位置図



凡 例	
	流域
	山財ダム管理区域
	上水道供給地域
	特定かんがい給水地域
	幹線水路
	雨量観測局
	水位観測局
	サイレン警報局
	放送警報局
	ダム管理事務所
	無線中継局

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 3JHs 963





立札番号	ダム距離(km)	看板間距離(km)
1	1.4	1.4
2	2.1	0.7
3	2.6	0.5
4	2.6	0.0
5	3.5	0.9
6	4.0	0.5
7	4.0	0.0
8	4.7	0.7
9	4.7	0.0
10	5.2	0.5
11	6.4	1.2
12	7.0	0.6
13	7.1	0.1
14	7.5	0.4
15	7.6	0.1
16	8.0	0.4
17	8.1	0.1

山財ダム 立札位置図

10



あぶなり!!

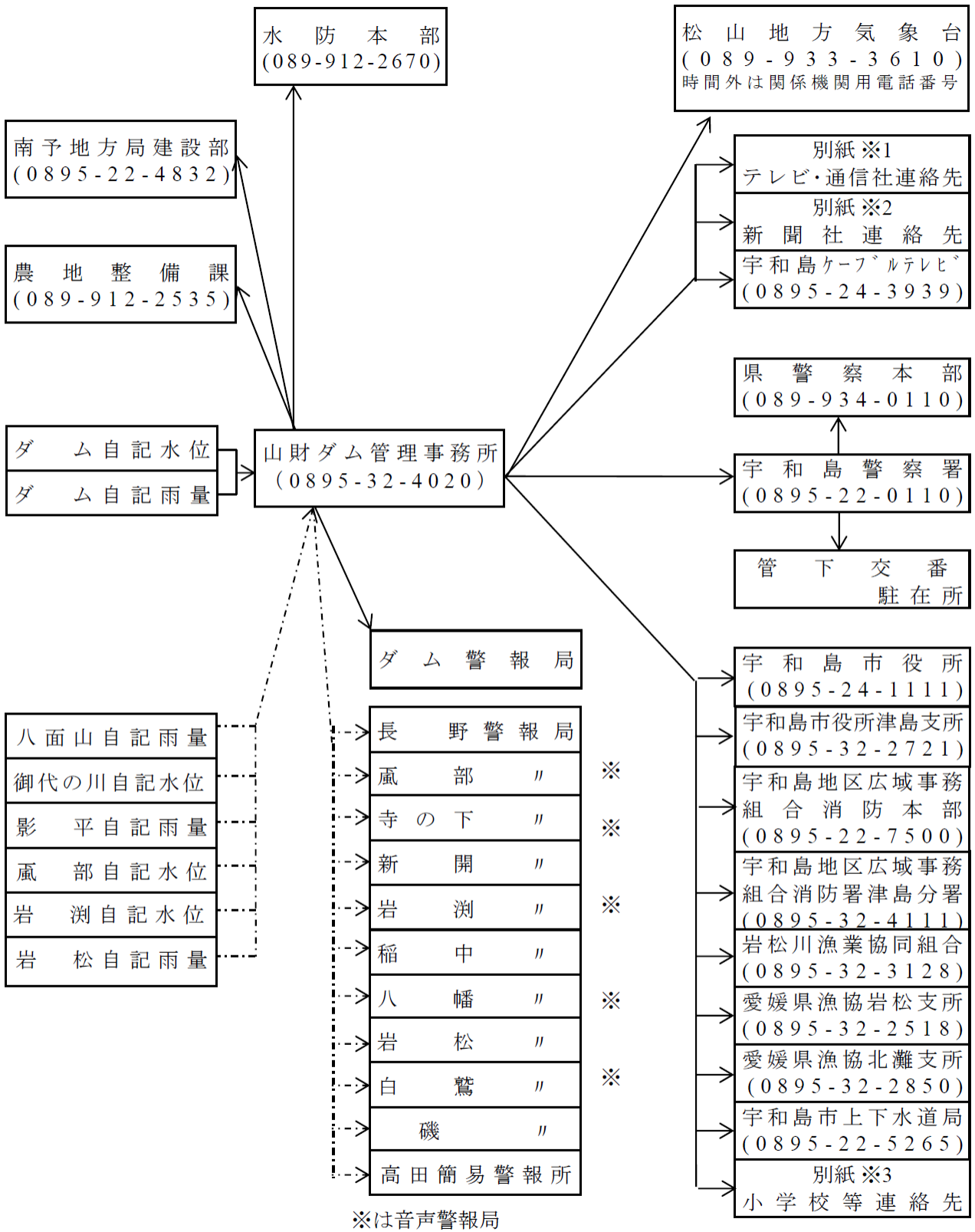
ダム放流による増水に注意

- 一 この川の上流五・二キロメートルのところに山財ダムがあります。
- 二 ダムからの放流で川の水が急に増えることがありますから注意して下さい。
- 三 その時は、あらかじめサイレンや放送などで知らされますので河原におりないで下さい。
- 四 サイレン（またはこれに似た音）の鳴らした時は、速に上流に引き返して下さい。

山財ダム管理事務所 TEL 011-4010

出典：愛媛県HP (<https://www.pref.ehime.jp/page/63347.html>)

山財ダム水防伝達系統図（宇和島市）



警報車  (山財ダム 1)

【凡例】
 ——— 専用回線又はNTT回線
 - - - - 無線

(別紙)

※1 テレビ・通信社 連絡先

N H K 松 山 放 送 局 (0 8 9 - 9 2 1 - 1 1 1 7)
あ い テ レ ビ (0 8 9 - 9 2 1 - 2 1 9 3)
南 海 放 送 (0 8 9 - 9 1 5 - 3 8 0 5)
テ レ ビ 愛 媛 (0 8 9 - 9 4 3 - 1 1 7 1)
愛 媛 朝 日 テ レ ビ (0 8 9 - 9 4 6 - 2 8 4 4)
共 同 通 信 社 (0 8 9 - 9 4 1 - 0 3 2 2)
時 事 通 信 社 (0 8 9 - 9 2 1 - 6 1 0 1)

※2 新聞社 連絡先

愛 媛 新 聞 社 (0 8 9 - 9 3 5 - 2 2 2 2)
毎 日 新 聞 社 (0 8 9 - 9 4 1 - 2 7 1 1)
朝 日 新 聞 社 (0 8 9 - 9 4 1 - 0 2 1 3)
読 売 新 聞 社 (0 8 9 - 9 3 3 - 4 3 0 0)
日 本 経 済 新 聞 社 (0 8 9 - 9 4 1 - 0 3 4 9)
日 刊 工 業 新 聞 社 (0 8 7 - 8 8 3 - 6 9 0 3)
産 経 新 聞 社 (0 8 9 - 9 4 1 - 6 6 8 0)

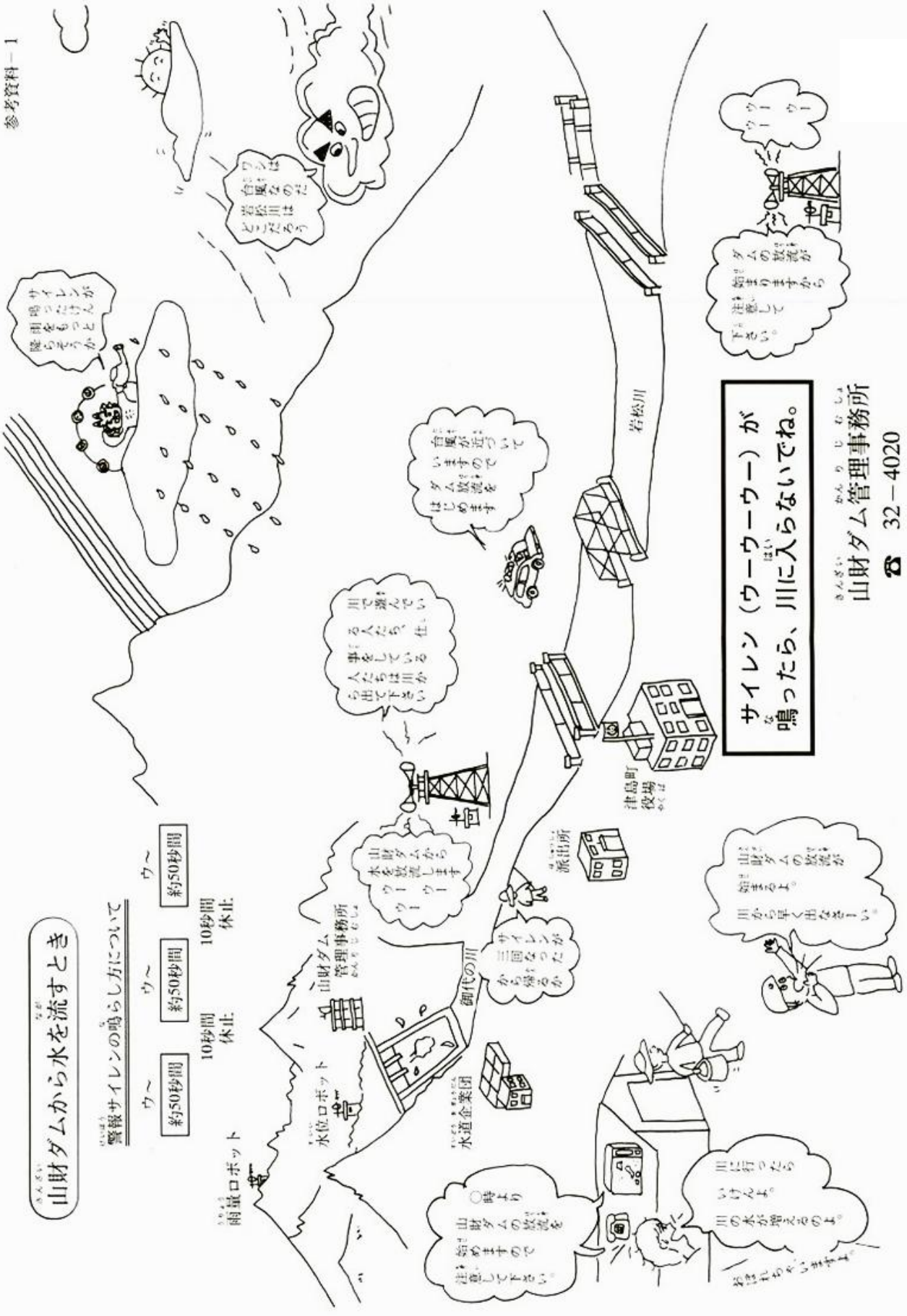
※3 <山財ダム>

小学校等連絡先
(開校中のみ)

岩 松 小 学 校 (0 8 9 5 - 3 2 - 2 5 0 8)
岩 松 認 定 こ ど も 園 (0 8 9 5 - 3 2 - 2 1 0 2)
清 満 小 学 校 (0 8 9 5 - 3 2 - 2 0 2 8)
宇和島市立児童館こもりん (0 8 9 5 - 3 2 - 2 0 2 0)
津 島 中 学 校 (0 8 9 5 - 3 2 - 2 3 0 0)
宇和島東高等学校津島分校 (0 8 9 5 - 3 2 - 2 3 0 4)

山財ダムから水を流すとき

警報サイレンの鳴らし方について



サイレン (ウーウーウー) が鳴ったら、川に入らないでね。

山財ダム管理事務所
32-4020

山財ダムの放流および放流時の警戒についてのお知らせ

ダムの放流を行う場合、河川水位の上昇による危険防止のため、放流に関する通知、警報等の方法を下記のとおり定めておりますので、十分ご留意のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

1.山財ダムの目的

- (1) 洪水調節による河川下流域の災害防止
- (2) 流水の正常な機能の維持（河川維持用水）
- (3) 上水道水の確保
- (4) 特定かんがい用水の確保

2.ダムの放流を行う時および事由

- (1) 利水必要量の放流
- (2) ダムの満水位維持のための放流
- (3) 洪水調節のための放流
- (4) 緊急放流（異常洪水時防災操作）
- (5) 事前放流
- (6) ゲートまたはバルブの点検および整備のための放流、又はその他特に必要がある場合

3.放流のための警報設備

- (1) 警報サイレンおよび拡声器等

警報局はダム地点から河口までの間で上流側からダム監視局、長野警報局、嵐部放送局、寺の下放送局、新開警報局、岩淵放送局、稲中警報局、八幡放送局、岩松警報局、白鷺放送局、および磯警報局の 11 箇所に設置しておりますが、この動作はダム監視局から無線操作によって行います。

なお警報局は警報サイレン、赤色回転灯、電光表示盤、およびダム放流に関する予報、警報を行う拡声器を設備しており、また放送局は赤色回転灯、電光掲示板、および拡声器が設備されています。

- (2) 警報掲示板

警報掲示板はダム地点から河口までの間で、特に人の出入りの多い地点、または危険区域等の要所 17 箇所に設置し、放流に関する通知、および警報サイレンの鳴らし方について掲示をしています。

約 50 秒間 約 50 秒間 約 50 秒間 約 50 秒間 約 50 秒間

サイレン吹鳴様式 10 秒休止 10 秒休止 10 秒休止 10 秒休止

※緊急放流の場合は、 を 15 回繰り返します。

- (3) 警報車

山財ダム管理事務所に警報車を 1 台設置し、放流に際してはダム監視局と無線で連絡をとりながら警報サイレン吹鳴、および拡声器による予報を行い、また河川の巡回と監視をする体制にしています。

4.放流に関する通知および警報の方法

- (1) 関係各機関に対する通知は放流を開始する約 1 時間前に電話で連絡します。
- (2) ダム監視局に設置されているサイレンは放流を開始する 30 分前に約 5 分間鳴らし、さらに放流を始める約 5 分前から放流直前まで鳴らして警報します。
- (3) ダム監視局以外の全警報局のサイレンは放流を開始する約 30 分前に約 5 分間鳴らします。
- (4) 全警報局はサイレンを鳴らす前に、併設の拡声器により、放流に関する予報を放送します。
- (5) 警報車はダムから放送を開始する約 1 時間前に山財ダム管理事務所を出発して、予報および警報を行いながら、御代の川、岩松川筋を通り、河口までの範囲を巡回し、ダム管理事務所との連絡を密に保ち、下流の状況を把握し、各地点における水位の変動を生ずる前に警報を行います。
- (6) ダムから放流している間、電光掲示板は「ダム放流中キケン」または「放流中」を点灯し、赤色回転灯は点滅を行い、また放流を停止した時は共に消灯します。

愛媛県山財ダム管理事務所

宇和島市津島町山財 4250

電話 (0895) 32-4020

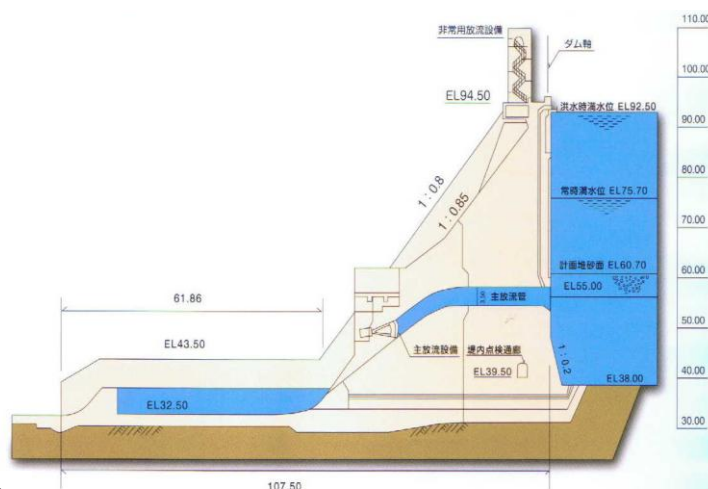
山財ダムの諸元

1 ダム諸元

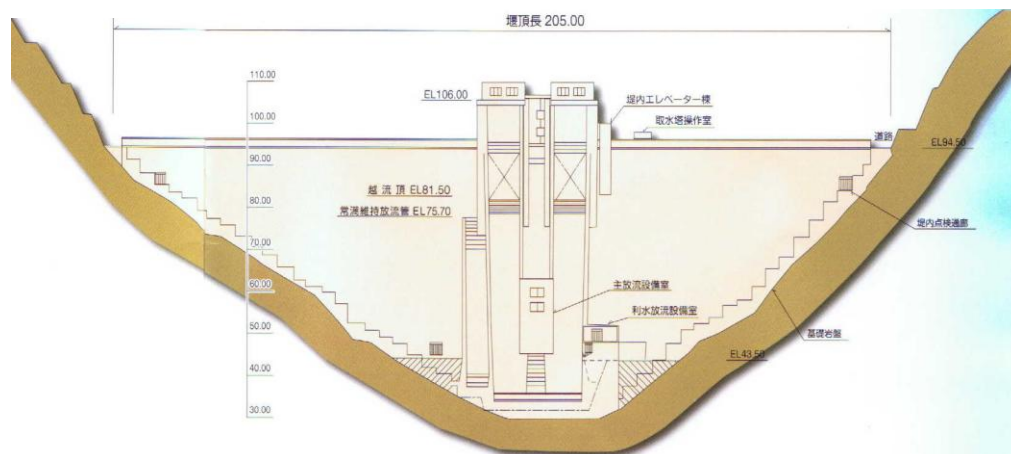
貯水池		ダム		放流設備	
集水面積 (降った雨がダムへ集まる面積)	29.4 km ²	地質	砂岩	設計洪水流量 (発生すると考えられる最大の洪水量)	1,460m ³ /秒
湛水面積 (ダム湖の面積)	0.30km ²	天端標高 (ダム上の通路の標高)	EL94.5m	計画高水流量 (50年に1回起きると考えられる洪水量)	480m ³ /秒
総貯水容量 (最大貯水容量)	650万 m ³	堤高 (ダムの上から下までの高さ)	64.0m	計画放水量 (最大の放流量)	170m ³ /秒
洪水調節容量 (洪水の時に貯める水の量)	406万 m ³	堤頂長 (ダム上の通路の長さ)	205.0m	非常用放流設備	ローラーゲート2門
利水容量 (水道などの利用できる水の量)	184万 m ³	天端幅 (ダム上の通路の横幅)	4.0m	主放流設備	高圧ラジアルゲート1門
堆砂容量 (将来ダムに留まる土砂の量)	60万 m ³	上流面勾配 (ダム上流側の法勾配)	鉛直 1:0.2	自由越流設備	常時満水位維持放流管1門
洪水時最高水位 (洪水の時の最高水位)	EL92.5m	下流面勾配 (ダム下流側の法勾配)	1:0.85	利水放流設備	シリンダーゲート1門
平常時最高貯水位 (日常保っておく水位)	EL75.7m	堤体積 (ダムのコンクリートの量)	20万 2千 m ³		ホーゼットバルブ1門

2 ダム標準図

1. 標準断面図



2. 正面図 (下流側)



1.放流方法

①満水維持放流

貯水池が平常時最高貯水位（標高75.70m）の時、流入量が毎秒90m³以下の場合、平常時最高貯水位を保つため流入量に相当する水量を放流する。（初期放流方法）

②洪水調節

ダムへの流入量が毎秒90m³を超えた場合、流入量と90m³との差に定数(0.205)を乗じた水量に、90m³を加えた水量を放流する。

$$\text{放流量} = \{(\text{流入量} - 90) * 0.205 + 90\} \text{m}^3 / \text{毎秒}$$

③緊急放流（異常洪水時防災操作）

異常な豪雨により、ダム地点の流入量が計画規模を超え、このまま洪水調節を続けるとダムに貯められる容量を使い切ってしまう場合に行う特別な操作である。洪水調節容量の8割に相当する貯水位（標高89.80m）になった時から操作を開始し、貯水位を優先した水量を放流する。

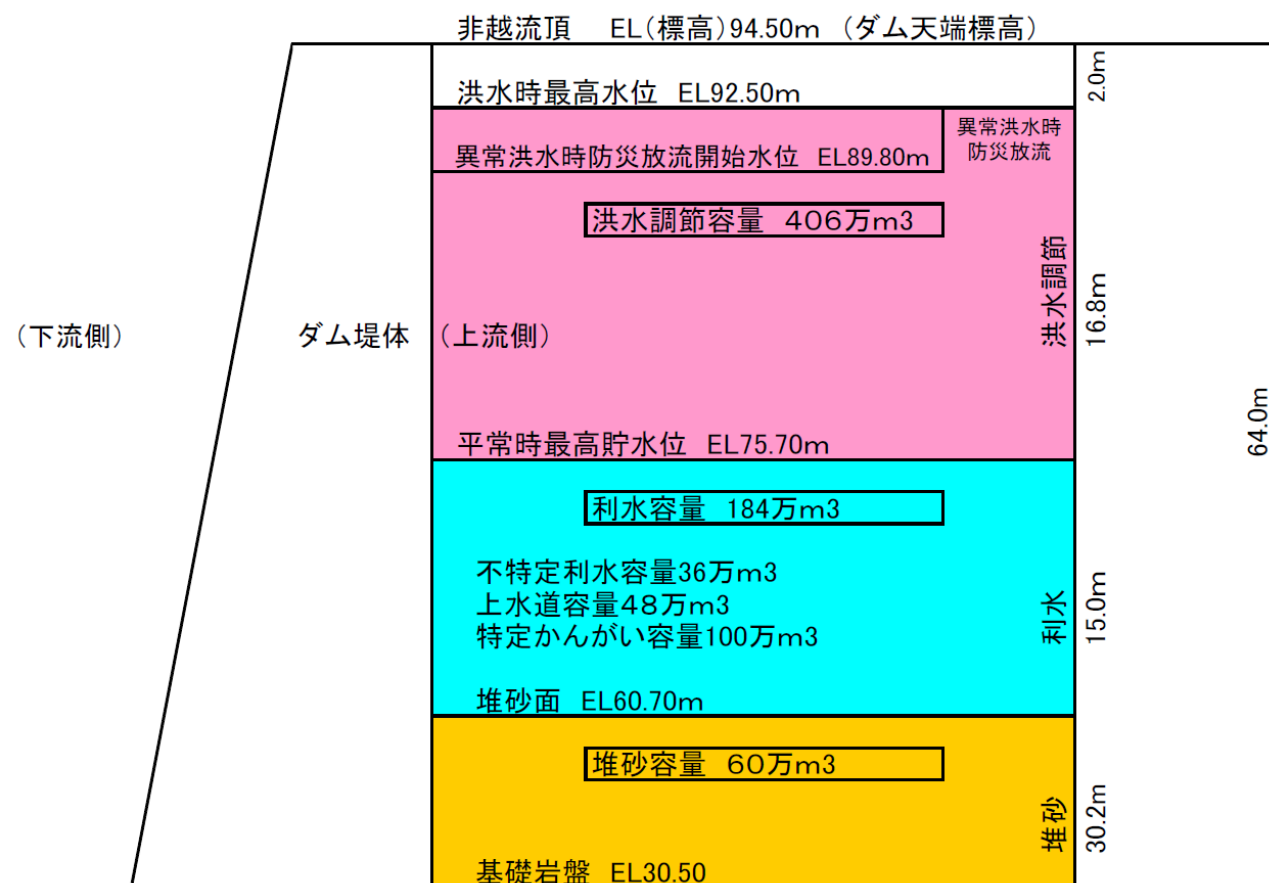
※洪水調節放流は流入量に相当し、毎秒90m³を越す水量の約8割を貯留しながら放流する方法に対して、異常洪水時防災操作は貯水位を保つように放流量を操作する。流入量=放流量の操作を行う。言い換えれば、ダムがない通常の河川の状態になる。

※平常時最高貯水位：日常保っておく水位
洪水時最高水位：洪水時の最高水位

④事前放流

台風の接近等で大雨が予想される場合（24時間当たりの雨量が300ミリ以上）、事前にダム水位を下げ（最大で満水位から4.5m下げる）、洪水に準備する必要があると判断した場合に実施します。

2.貯水容量配分図



山財ダム 年度別降雨量

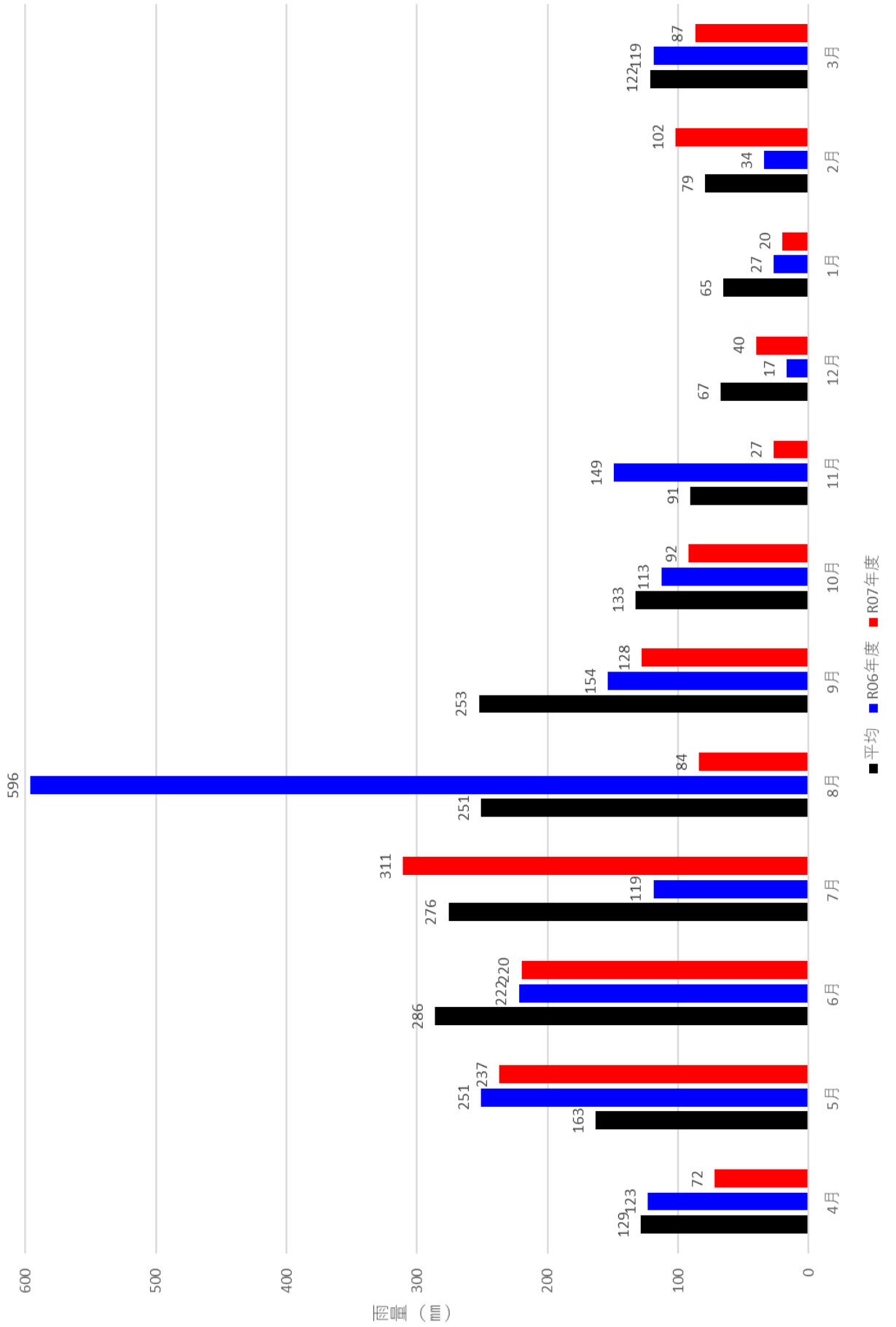
経年	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	10年平均
1	S56年度	129	116	224	264	40	179	97	111	40	50	78	114	1,442	1,737
2	S57年度	105	130	85	625	394	183	35	233	32	49	37	196	2,104	
3	S58年度	142	167	159	167	110	304	91	14	43	89	53	73	1,412	
4	S59年度	135	89	416	187	250	51	62	46	44	18	83	141	1,522	
5	S60年度	213	145	347	116	211	58	135	30	67	27	51	123	1,523	
6	S61年度	113	159	211	164	170	206	67	18	128	85	54	93	1,468	
7	S62年度	74	197	183	438	131	192	327	42	26	53	61	108	1,832	
8	S63年度	178	223	405	141	224	188	27	70	15	139	124	184	1,918	
9	H元年度	42	143	189	284	420	454	64	101	7	93	199	109	2,105	
10	H02年度	149	199	263	109	328	369	231	112	30	51	75	123	2,039	
11	H03年度	121	168	405	168	263	224	43	71	93	75	71	227	1,929	1,859
12	H04年度	84	114	174	76	561	140	53	55	78	44	59	119	1,557	
13	H05年度	106	130	728	589	291	462	97	133	46	73	77	80	2,812	
14	H06年度	152	55	146	178	169	75	68	50	64	34	29	57	1,077	
15	H07年度	100	221	169	275	5	218	71	65	10	47	63	60	1,304	
16	H08年度	122	46	293	362	172	52	76	53	78	53	54	135	1,496	
17	H09年度	110	168	216	237	115	384	21	121	66	160	98	91	1,787	
18	H10年度	202	150	432	173	0	248	315	24	13	34	46	91	1,728	
19	H11年度	79	146	407	516	603	463	123	153	35	106	42	185	2,858	
20	H12年度	85	131	436	187	125	385	87	242	64	99	111	93	2,045	
21	H13年度	98	125	255	89	247	324	228	72	31	44	30	87	1,630	1,917
22	H14年度	74	145	181	189	223	194	40	54	100	105	56	119	1,480	
23	H15年度	202	344	316	210	246	175	156	214	45	2	52	112	2,074	
24	H16年度	154	272	193	87	726	343	346	81	188	66	127	120	2,703	
25	H17年度	68	140	71	273	144	583	79	84	61	89	120	109	1,821	
26	H18年度	324	351	365	500	372	263	22	133	62	24	81	110	2,607	
27	H19年度	71	115	136	740	205	155	85	24	71	148	71	122	1,943	
28	H20年度	115	183	348	39	135	209	183	128	41	81	97	118	1,677	
29	H21年度	47	43	177	235	246	25	149	183	56	66	126	205	1,558	
30	H22年度	227	176	351	326	72	98	123	67	104	23	65	40	1,672	
31	H23年度	122	206	517	492	48	494	360	94	90	43	131	176	2,773	2,258
32	H24年度	123	62	502	282	319	308	127	88	121	65	142	96	2,235	
33	H25年度	133	53	183	48	86	143	427	98	128	55	189	189	1,732	
34	H26年度	77	118	329	225	800	117	221	59	113	104	40	212	2,415	
35	H27年度	165	114	392	374	288	223	46	154	212	91	80	97	2,236	
36	H28年度	161	272	539	164	68	486	158	65	157	52	84	68	2,274	
37	H29年度	183	99	222	152	232	300	386	108	38	92	69	153	2,034	
38	H30年度	139	228	317	663	224	562	66	61	81	25	91	144	2,601	
39	R元年度	77	102	326	337	439	110	220	33	101	128	76	102	2,051	
40	R02年度	119	239	310	531	103	430	134	74	38	88	69	96	2,231	
41	R03年度	107	298	146	277	492	127	67	116	54	41	16	108	1,849	1,691
42	R04年度	116	94	90	371	13	522	40	84	47	68	44	123	1,612	
43	R05年度	253	177	284	127	300	64	14	80	62	20	112	159	1,652	
44	R06年度	123	251	222	119	596	154	113	149	17	27	34	119	1,924	
45	R07年度	72	237	220	311	84	128	92	27	40	20	102	87	1,420	
平均		129	163	286	276	251	253	133	91	67	65	79	122	1,915	S56～R7の45年間
平年値		135	200	268	305	255	288	129	80	64	56	70	116	1,965	過去10年（H28～R7）
R7の平年比		0.53	1.19	0.82	1.02	0.33	0.44	0.71	0.34	0.63	0.36	1.46	0.75	0.72	

: 月毎の最大雨量
 : 月毎の最小雨量

この表からわかること

- 1) 年間雨量の10年平均が徐々に増加。
- 2) ゲリラ豪雨が全国的に多発しており、時間100mm以上の雨がいつどこで発生するかわからない。

山財ダム 年度別降雨量グラフ (平均 + 直近2か年の比較)



山財ダム 年度別放流記録

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
S56年度				1									1
S57年度				2	1<1>	1<1>		1					5<2>
S58年度			1	1		1							3
S59年度	1		5	1	2								9
S60年度	1		3		1								5
S61年度	1		1	1		1							4
S62年度		1	2	2		1	1<1>						7<1>
S63年度	1	1	3		1	1				1	1		9
H元年度			1	2	3	3<1>				1			10<1>
H02年度	1	2	2	1	1	2	1<1>						10<1>
H03年度			4		2	1	1					1	9
H04年度					3	1							4
H05年度			4	2<1>	1<1>	2<1>							9<3>
H06年度				1	1								2
H07年度		1		1									2
H08年度			1	1<1>	1								3<1>
H09年度			1	1		1<1>							3<1>
H10年度			2	1		1	1<1>						5<1>
H11年度			2	1<1>	3	2							8<1>
H12年度			2	1		1		1					5
H13年度			1		1	2	1						5
H14年度				1	1	1							3
H15年度		2	3	3	3	1	1	2					15
H16年度	1	3	1	1	5<2>	3<1>	1<1>		1				16<4>
H17年度				1		2《1》							3《1》
H18年度	3	4	3	2	2	4							18
H19年度				3<1>	1								4<1>
H20年度		1	1				1						3
H21年度				2	1								3
H22年度	2	1	2	2									7
H23年度		1	4	2<1>		2<1>	1<1>						10<3>
H24年度			3	4		1	1						9
H25年度							1<1>			1	1		3<1>
H26年度			2	3	6	1	1					2	15
H27年度	1		4	4	2	1			1				13
H28年度	1	2	2<1>	1		1<1>							7<2>
H29年度	1			2	1<1>	1<1>	2					1	8<2>
H30年度	1	1	2	1<1>	2	4<1>	1					1	13<2>
R元年度			2	3	2	2	1			1			11
R02年度		1	3	3		3	1						11
R03年度		2		1<1>	2	1							6<1>
R04年度				2		2<2>							4<2>
R05年度	2	1	2		1							1	7
R06年度	1	3	2	1	2(1)	1		1					11(1)
R07年度		2	3	2	1	1							9
合計	18	29	74<1>	64<7>	53(1)<5>	53<11>《1》	17<6>	5	2	1	3	8	327(1)<30>《1》

注1：表中の数値は、

- ①括弧なし：全放流回数（満水位維持放流+事前放流+洪水調節放流+緊急放流）
 ②（ ）：事前放流回数（台風の接近等で大雨が予想される場合（24時間当たりの雨量が300mm以上））
 ③< >：洪水調節放流回数（流入量が90m³/s以上に達した場合）
 ④《 》：緊急放流回数（異常洪水時防災操作）（EL89.8mを超えた場合）

※②～④は、①の内数

注2：月を跨ぐ放流は、放流開始月で整理

山財ダムにおける最近の治水のための放流履歴（満水位維持放流除く）

年度	原因気象	開始日時	終了日時	放流 延日数	警戒体制 延日数	最大流入量 m ³ /s	最大放流量 m ³ /s	最高水位 EL・m	摘要 (放流種類)
H05年度	台風5,6号	H5.7.27	H5.8.4	9	12	127.65	98.29	76.51	洪水調節
	台風7号	H5.8.9	H5.8.12	4	6	173.46	108.26	79.00	洪水調節
	台風13号	H5.9.3	H5.9.5	3	5	249.46	125.01	78.77	洪水調節
H08年度	台風6号	H8.7.19	H8.7.21	3	5	154.34	104.02	78.82	洪水調節
H09年度	台風19号	H9.9.16	H9.9.17	2	4	293.00	131.00	83.84	洪水調節
H10年度	台風10号	H10.10.17	H10.10.19	3	5	153.00	103.00	78.33	洪水調節
H11年度	台風5号	H11.7.26	H11.7.31	6	8	192.81	111.00	77.45	洪水調節
H16年度	熱帯低気圧	H16.8.2	H16.8.3	2	2	124.68	116.42	77.46	洪水調節
	台風16号	H16.8.30	H16.9.1	3	3	274.94	134.36	83.33	洪水調節
	台風21号	H16.9.29	H16.9.30	2	2	114.09	60.92	77.38	洪水調節
	台風23号	H16.10.19	H16.10.22	4	3	189.37	111.19	78.69	洪水調節
H17年度	台風14号	H17.9.5	H17.9.9	5	5	263.43	183.50	90.36	緊急
H19年度	台風4号	H19.7.11	H19.7.17	7	7	157.62	107.26	78.13	洪水調節
H23年度	台風6号	H23.7.18	H23.7.22	5	5	131.65	101.88	77.16	洪水調節
	台風15号	H23.9.19	H23.9.22	4	4	158.76	110.60	76.76	洪水調節
	熱帯低気圧	H23.10.21	H23.10.23	3	3	152.86	105.69	76.98	洪水調節
H25年度	台風27号	H25.10.24	H25.10.25	2	2	91.47	89.36	76.29	洪水調節
H28年度	梅雨前線	H28.6.20	H28.6.25	6	6	134.04	99.43	76.62	洪水調節
	台風16号	H28.9.19	H28.9.22	4	4	261.25	131.18	81.54	洪水調節
H29年度	台風5号	H29.8.6	H29.8.9	4	4	115.40	90.77	75.92	洪水調節
	台風18号	H29.9.17	H29.9.19	3	3	116.70	95.39	76.37	洪水調節
H30年度	台風7号	H30.7.3	H30.7.10	8	8	255.26	125.96	80.08	洪水調節
	台風24号	H30.9.30	H30.10.2	3	3	154.73	106.14	76.18	洪水調節
R03年度	梅雨前線	R3.7.17	R3.7.19	3	3	218.60	118.17	76.59	洪水調節
R04年度	台風14号	R4.9.18	R4.9.18	1	1	102.15	92.04	72.31	洪水調節
	台風14号	R4.9.19	R4.9.21	3	3	124.17	98.52	74.44	洪水調節
R06年度	台風10号	R6.8.28	R6.9.1	5	5	70.90	89.96	75.49	事前